京城新報

人の一生は重荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●絶海の樂天地(二)
(鬱陵島民の生活)

△日韓人の間 も極めて融和し他に比類なき程にて仕事の上にても日本人より三ヶ年分位の前貸をなす程なるが韓人の生活も外面こそいぶせき樣なれ内幕は却て本土のものより豐かなる位なり

△物産 は木材の産出盛んなりしも三十五年頃は無暗に製材し供給過多の爲め價格を下落せしめし位なるを以て今は搬出に便なる地點には殆ど盡きたり、大豆の産出は六千石位米は極めて少く島民中韓人は祝日等にあらざれば米食せず麥、馬鈴薯、玉蜀黍豆等を常食とし凶年には山蒜其他野生の澱粉質なるものを食ふ、海産物は烏賊、鮑、天草、海苔等にして烏賊の産出は一ヶ年三四萬圓他は二萬圓位なり

△學校 は小學校一あり生徒四十七八向は漁業者增加するを以て生徒數も增加の傾有

△官廳 は郡衙、郵便所、巡査駐在所(部長一、巡査二)等なり外に日商組合なるものありて一般の取締を爲せり

△物價 は一般に高價白米最低二十圓位、酒は京城にて三四十錢のもの六七十錢なり

△交通 日露戰役頃海底電線布設されて非常の便利となりたるが汽船の寄港は港灣不完全にして困難なるべく目下帆船のみなるが一ヶ年に於ける運物運賃は未だ千五六百圓なるも定期航海を開けば漸時增加の見込有

●會寧近信

▲交通 七月中降雨多く河水膨脹せしも運輸には影響なく淸津、鏡城間の輕便鐵道は從來和淸洋行一手にて取扱ひしも今回軍用に關する分は經理部にて取扱ふこととなり事務員を各線に出張せしめたるを以て從前の如く貨物の停滯を來さゞるに至れるも普通貨物は和淸洋行取扱貨の高價なる爲め之を利用するものなく日本貨物輸入に對し何等の利益なし

▲新税と人民 智識程度低く質朴なる爲め格別政令を云爲するものなきも利益上より稍異議を唱ふるものありしが近來は非難するものもなきに至れり

▲裁判制度と民意 裁判制度改正に就きては一般に之を歡迎し居れり

▲教育の狀況 日々進步現今會寧に開設せる校數五生徒三百八十三名あり又各面大抵一個の小學校を設け居れるも何等政治的の講話教育の跡を認めず

▲衞生の狀態 昨年工兵隊に腸窒扶斯蔓延したる例あり本年は官衙、軍隊は勿論地方一般衞生に注意せるを以て日本人に一名の赤痢患者ありしのみにて傳染病の發生なく衞戍病院經營の療病院は淸韓人の入院者多く其德を賞ゐつゝあり

▲市況 兵營建築及び營林廠に使用する人夫多數入込み市況活氣を添へ農事も豐作の見込なり

▲燒失後の製材所 には安東縣より百五十名の支那木挽入込み手引鋸にて製材し居れりと

文苑

●春雨傘● ぼく

友人より、自ら培養したる朝顏漸く此の頃に至りて花開き初めぬ、美事也、見に來よとの事也、願ふてもの儀なればとて明くるも待たで行く、紫、藍、赤なぞ濃きは去り行らぬ夜の色に通いて見ゐわかず、只淡きものゝ白きもののみの誇り顏に咲けるを見る、主の曰く灯さんか、と、僕の曰く朝顏を見るの趣味はくらきより斯く相對して自からほの〴〵明け行く空の薄あかりに見る所にあり、など甘からぬ手前味噌塗り列ぶるも興也、主の丹誠は明け行く空とともに鮮かに咲き出でたる花の上に明也、主の曰く大畧は花の色を以て葉の形を以て其の好む所の名を之れに冠したるも、未だ此の花一つのみ名なし、と、即ち主に代りて春雨傘と名く、由緒下の如し。

紺青色の大輪に太く銀白の覆輪したるに、あるともなき白線の七八條花心に向ひて流れたるが、暮れの春、燕飛ぶ柳蔭に、糸より細うツボ降る雨を肩にかざしし細骨のまだ異新らしい傘の色、異白き顏に照り映ひて張りのある眼を稍細く、漸う淡く〳〵黄春の光に憧がるゝ〜黄鳥の音も幽に響く黄昏るゝ狹斜の巷、其の寂しみを身に泌み泌みと行み盡す舞姫の翳しの傘に似通へればとて



第三十席 桃川燕玉演

仕方がないから大地に兩手を突いて 甚「どうかはや寛大の御沙汰を以て、幾重にも御勘辨を願ひたい、定右衛門なる者は手前方に於て屹度仕置申付ける、どうか御引渡しを願ひまする 池「過つて改むるに憚る事なし、貴樣の方で重々惡いから勘辨致してくれとあらば勘辨を致さぬ事はないが、金子などを差出すは近頃不屆である宥して呉れさあらば宥してやる、宥すやうにして願へ 甚「如何致したら御宥しになりませう 池「詫書を一通出せ、勘辨してやる 甚「いやそれは誠に最易い事、然らば早速詫書を認めますから御勘辨…… 池「尤も主人名前を書入れぬければ勘辨罷成らね 甚「其儀はどうか幾重にも御勘辨…… 池「イヤそれでは勘辨ならぬ、主人名前を書入れ、松平壹岐守家來今野定右衛門、供頭高橋甚五右衛門、主の名前を書入れんければ容赦は致さぬから 甚「へー……」弱つたのは高橋甚五右衛門、どうも愚圖々々言つて居つた所が追付きませぬから 甚「然らばどうか是にて……」と據ない主人の名前を書入れまして 甚「どうか御勘辨 池「ムゝ是で容赦を致して取らせる、以來乾度氣を付けろ」イヤどうも今野定右衛門膽を潰した、高橋甚五右衛門に引叱られ、這々の体で引取られた、詫書を一通取つて中山殿へ之を差上げましたから御乘物の中に在らせられまして愛親卿殊の外御喜び遊ばされ、誠に手始めよしと、是から箱根の關を越えて御乘込みに相成りました、恰度程ケ谷の本陣井上の方に御泊りになりました、此程ケ谷と云ふ宿は昔帷子の里と申しまして、此井上の座敷に今以ちまして中山殿の御認めになつた掛物がございまする。と云ふのは此本陣の主人が一体勤王の志の厚い御方でございますから今度京都から御出になつた中山大納言と云ふ豪い御公卿樣だと云ふのを聞いて「此度の關東御下向御苦勞に存じ奉ります」とイヤ一方ならず御饗應をした、されば座敷の結構も最立派でムいまして、床の間に掛物が掛て居たのを愛親卿御覽なさると太田道灌の短冊が一枚「日盛は片肌拔いで旅人の汗水になるかたびらの里」それを御覽遊ばして愛親卿が筆を取つて一首の歌を詠じ「春來ぬと愛づる千草のはや咲いて、向ふに近し帷子の里」といふ。是は今以ちまして程ケ谷の井上方の寶物になつて歴然と殘つて居ります。善美を盡して御歡待を致す、愛親卿殊の外御喜びで、此處を立つてあれから品川の本陣へ御着になる。此處で高家六角越前守御伺ひとして品川の本陣へ罷出まして 越「御兩卿遠路關東御下向の段近頃御苦勞に存じ奉ります、寒氣の御厭ひもなく御壯健の体を拜し恐悦に存じまする」中山殿が「扨越前、吾々が旅館は何方である」越「左樣、傳奏館でござります 中「イヤ〳〵麿は此度德川將軍から尋ねられる儀があつて關東へ下つた、訊問を受ける、言はゞ罪人に等しき者だ、傳奏屋敷へ乘込むは甚だ恐多い事、旅館は別に致し呉れぬければならぬ 越「左樣、暫くどうか御控ねを願ひたい」と直ぐ六角越前守立歸りまして、是を御老中方へ申上げる、豫て傳奏屋敷へ支度はしてあつたのだが、成程さう言はれて見れば致方がない、何處に致したもの、差當つて先づ差支のないのは馬喰町の旅籠屋だ上州から來た者は上州屋へ泊り、越後から來た者は越後屋へ泊る、山城屋と云ふ大きな旅館があるから、其處へでも御案内すれば恰度好いが、御公卿樣だからさうはいかぬ。そこで淺草の傳法院が宜い、彼處は誠に廣々として居る、何にしろ早速此れへ諸職人大勢を入れまして急普請、さあどうも大變だ、座敷廻りから庭から外圍から、何も彼も一日の中にやらうと云ふ、ドン〳〵大工、左官、植木屋、經師屋、疊屋、諸職人が入つて急ぎに急いで普請を致す、扨翌日に相成りまして御兩卿は、東海道の親宿品川から行列を立つて江戸表に乘込む、行列いとも美々しくして、四邊の人を驚かすばかりでございます。



京城新報

治道の進歩

保護政治の普及、文明の輸入、富源の開發上最も急を要するものは道路の改築也、何人も知る如く韓國には從來完全なる道路なし、殊に國都を距る遐陬なる地方に至れば全く道路なるものなし、荷車は勿論牛馬の通行さへ難き所少しとせず、故に此等の地方に於ては貨物の運搬には人脊を藉るの外あらず、而して稍道路らしきもののある所と雖も漸く牛馬の脊によりて運搬するに止まる、京城十里の外は眞に別天地にして殆ど太古の趣きあり、斯の如き狀態なるを以て產業は無論發達せず、文明の曙光も此等遐陬の地方には輝かず、從て帝國の最も力を盡せる保護政治の如きも此等地方の韓民には何等の恩澤も感ぜず、其未開の程度は實際意想外にして京城若くは平壤抔を見たるのみの人には想像だにも浮まざる狀態にあり、此等地方の韓民に文明の恩澤を知らしめ、產業を發達せしめ、我が保護政治の眞意を知らしむるには何事を惜ても道路を改修し交通の利便を計らざる可らざる也。當局者も夙に玆に見る所ありて道路の改築に着手し、第一期に二百五十萬圓の豫算を以て樞要なる一部道路の改修を行ひたるが全國の上より見れば素より九牛の一毫のみ、然れども全國に亘りて之を實行するには巨額の經費を要す、韓國今日の財政にては到底望む可らず、之を以て當局者は種々研究の結果我國維新當時に行れたる夫役の方法に依り、全羅南道及慶南晋州三千浦間に改修工事を試みたるに頗る良好なる結果を收めたるを以て今後も此方法によりて地方費を夫役現品に依りて之を施行せんと目下研究中なりと云ふ、實際一時に全國の道路を改修せんには巨額の經費を要す、此際に於て夫役の方法は一の好方便ならむ、未開國にありては夫役は一の便法なりとす、今日の場合徒に財政の充實を俟て徐々と改修工事を起すの迂を取る可らず、政府は一方に財政の充實に努むると共に當面に於ては此夫役の方法により可成急速に治道の實を擧げざる可らず、鐵道の布設は素より急なりと雖も道路の改修は尙更に急を要する也、韓國を開發すると云ひ、文明に導くと稱するも、先づ以て交通を便ならしめざれば何事も爲す能はず、治道は畢竟保護政治の先驅也、交通の便開けて始めて總ての事業が進展し來る也、是を以て當局者は今後更に治道の事業に勵精しより多くの實蹟を擧げざる可らず、今日に於ける成績は全國の上より見れば素より微々たるものなりと雖も、鋭意此事に從はゞ軈ては大なる成績を擧げ得べし、幸に當局者も治道の急を認識せられ今や熱心其事に從事せらるゝを見て余輩は衷心より之を嘉みすると共に更に奮勵を希望するもの也。

北京電報

▲清國の海軍視察 サイジュンコウは海軍視察の爲め二十五日北京を發し日本に赴くに決せり(二十日)

倫敦電報

▲チロル氏の韓國論 倫敦タイムスのチロル氏は韓國は日本の保護國となりたる結果物質的利益の增進を見に至りしは疑を容れざるも韓國人の多數は日本の政治を好まざる證跡あり其一部分に對して在韓日本人の行爲其責を負はざる可らずと論結せり(廿日發)

東京電報

▲陸軍火藥庫爆發 今日二時大阪府下三島郡牧方町に在る陸軍火藥庫爆發し附近一里四方の家屋破壞し人畜の死傷多大なり(二十日午前着)

▲鴨綠江の築港說 安奉線竣工と相俟ち海陸運輸の聯絡を完うせしめん爲め鴨綠江沿岸に輸出入港を築港すべしと(二十日着)

▲韓太子の旅程 韓太子殿下には本日山形を發し福島に入り同縣廳に御宿泊さる(二十日着)

▲西島中將の急行 西島第六師團長は陸軍大臣の電命により本日急行歸韓の途に就く(同上)

雜報

●道路修築の大計畫(豫定工費數百萬圓)

韓國政府が近年國費を以て道路の修築を爲しつゝあるは彼の有名なる八大道路にして工費金二百五十萬圓を投じ隆熙六年迄に竣成すべき豫定なりしを隆熙四年に繰上げ速成する筈にて此內四大道路は平壤鎭南浦間、群山全州間、木浦光州間、大邱慶州間なるが延長百二十里に及んで韓國の模範道路たるべきものなり而して內部は今般更に道路修築の大計畫を立て延長三百里を五ヶ年の繼續工事とし工費約四百萬圓の豫定なるも此費用支出の途は未だ決定せざる由にて猶は他に地方費より支出し百里道後の道路を當分の內年々修築するの企圖ある由にて前項四百萬圓の工事中には東海岸より西海岸を貫通する道路即ち慶州より迎日灣に至るものと平壤元山間の道路と含まれ居れりと

●通信管理局の豫算

統監府通信管理局來年度の豫算案は既に編成を終り過日池田局長之を携へて東上したる次第なるが今豫算案の內容を聞くに歲出は經常臨時合計二百七十余万圓歲入計二百四十万圓にして之を前年度に比すれば歲出に於て約三十五萬圓歲入に於て三十余萬圓の增額を示せりと而して歲出增加の所以は通信機關の擴張費其多額を占め就中電話增設の經費及び營繕費等其重なるものなり尙先年來韓政府より通信機關引繼の當時に於ては歲出二百萬圓を要せしに反し歲入は僅に百萬圓位に過ぎざりしが現今にては經常歲入出に於ては收支の均衡を得るに至れり今明治卅九年以降每年の歲入出決算額を比額すれば左の如し

▲卅九年度歲出經常部	一、四七九、〇〇〇
同 臨時部	八一六、〇〇〇
歲入の部	一、一一〇、〇〇〇
▲四十年度歲出經常部	一、八三六、〇〇〇
同 臨時部	三四七、〇〇〇
歲入の部	一、五九二、〇〇〇
▲四十一年度歲出經常部	二、〇一七、〇〇〇
同 臨時部	二五九、〇〇〇
歲入の部	一、七八〇、〇〇〇
▲四十二年度歲出經常部	二、一五八、〇〇〇
同 臨時部	三〇〇、〇〇〇
歲入の部	二、〇八〇、〇〇〇

因みに歲入の內譯は郵便電信收入百九十八万圓(國庫金取扱手數料二十五萬圓を含む)收入印紙の收入九萬七千圓其他は雜收入なり尙郵便局廳舍は各地共重なる場所は殆んど全部新築落成し北韓地方の如き咸興、淸津、鏡城、城津の各地は既に三十九年中に新築したりと

●土地家屋證明料の減收

漢城府に於ける土地家屋證明手續は近來其件數の著るしく增加せるに拘らず之が手數料は其比例に增收を見る能はざる由なるが之全く家儈の狡猾なる手段に由るといふ元來土地家屋所有權確定の證明は價格の千分三、賣買贈與には同二の手數料を徵する規定なるが四百圓以下の賣買價格の際には五十錢の手數料を納付すれば足るを以て家儈等は自己の商買を繁昌せしめん爲め巧みに所有主を說き付けて數千圓の價格ある土地家屋をも四百圓以下として他に賣却し更に買戾しの手續をなす時は兩度の手數料を合するも一圓にして所有權確定の證明をなすよりも遙かに廉なる理なりとて漫りに賣買せしむるより斯く件數のみ增加して手數料は却て減退する如き奇怪なる結果を見るに至れるものなるが從來所有權等の不確實なる韓國の事とて府當局者も出願者の冒認を防ぐにのみ汲々として之を顧みるに暇あらず且つ本邦にては評價員ありて前記の如き不當なる價格賣買を防止するを得るも現在の漢城府にては吏員不足の爲め斯る處置をもなすを得ず空しく家儈等の狡猾に放任し居る次第なりと

●判檢事の任用令

法權實施後新設の裁判所に任用すべき判事及檢事の資格は相當の資格ある者より採用すべき筈にて之れが資格に就ては別に法令を以て規定する筈なるが本令施行の際韓國裁判所の判事檢事又は韓國法部の勅任官若くは奏任官たる者は本令の規定に拘はらず統監府判事又は檢事に任用し得る筈にして三年以上裁判所又は統監府裁判所の書記にありたる者にして現に判任五級以上の者は施行後二ヶ年以內を限り判、檢事に採用し得べしと云ふ

●元山の水害狀況

咸鏡南道咸興地方に於ては客月七日より十日間連日の大雨にて非常の出水となり浸入區域廣濶、耕土の流失田畓併せて約三百日耕の由にて農作物の被害少なからず河川大小の橋梁亦流失し交通の便を阻碍しありたる折柄再度客月二十八日より降雨引續き本月二日夜に入り咸興邑內城川江の如きは水嵩一丈三尺に上り上流水門口の堤防は決潰せられ附近十有餘面に浸水して方數里に亘る泥海を表出し住民は僅かに身を以て免かれたるの狀況にして萬歲橋の西方三十餘間は遂に墜落せられ全く對岸との交通斷絕せらるゝに至りしかば決潰の際通り掛りし韓人十名は其儘濁流に渫はれ水中に墜沒したる者ありたるも幸にして無事なるを得りと

●國際報償金問題再燃

彼のベッセル生存中無智の韓民を煽動し其愛國心に訴へて國債報償金なる美名の下に巨額の金錢を絞ぼり上げたるは世人の知る處なり時勢に朦昧なる韓民等は彼の毒手奸計に掛かれるを知らず報國の誠を表せんと欲して櫛笄の類迄も賣却し醵金したる該金は彼等一味徒黨の私腹を肥したるのみなれば醵金者一同は大に彼の不德行爲を憤慨り爾來該問題に付き紛擾を極めつゝありし處今回ベッセル妻女は愈々當地を退去する事となりたれば此結果若し該金の貸付先及び其使途に關する一切の證據不明となれる時は處分益々困難となるべきを以て妻女出發以前に於て之を解決せんと欲し金允五金鱗の兩名熱心に調査を急ぎつゝある由

●漢江の航路標識新設

燈臺局に於て新に建設せる漢江の航路標識は其數立標三、澪標五、浮標七、導標二、量水標一計十八箇所にて從來同江流域に於ては一私人又は團体の曖昧なる標識を設置するあり航行者に對して殆んど強制的に料金を徵收せる由なりしが向後に於ては同江の航行に毫も危險の虞なきは固より料金の徵收等も無きに至りたれば一般航行者の蒙る利便は僅少ならざるべく尙將來に於ける同江の開發に就ては最も當業者の注意に値すべきものありと尙標識の所在地並に種類等其の詳細は不日官報にて告示さるべしと云ふ

●面長協議會開催規定

從來設置したる地方委員なるものは一郡に一名又は二名の少數にて敏速に法令の周知を謀り得ざるに付各財務署管內を一區域として面長協議會を開催し地方委員會と相俟つて官民意志の疏通、法令周知等の目的を達する爲め今般面長協議會規程を設けこれを實行する筈なりと云ふ

●法權實施當時の裁判

法權實施の時に當りて理事廳裁判所に繫屬中の事件は之れを地方裁判所に移し判決を經て確定せざる事件は控訴院に移す筈なるが法務院にて裁判中の事件は控訴院の所管と爲し同衙に於て既に判決を經たるものに就きては終審なりと云ふ

●宣敎師の布敎協議會

各地より入京したる美以敎會の宣敎師十二名は去る十八日西部皇華坊貞洞培材學堂內にて布敎に關する協議を爲し又去る十七日には七名の宣敎師は鍾路靑年會館にて布敎擴張の協議を爲したりと云ふ

●水雷艇と密漁船

七月三十日仁川に入港したる水雷艇第十一艇隊に屬する第七十一、二、三、四の四艇は密漁船取締の任務を帶び黃海道方面に航行するを以て仁川稅關より監吏一名を便乘せしめ鎭南浦迄の沿海諸島嶼を觀察せしめたるが時恰も漁歸帆船時期なるを以て密漁船の群集するものなかりしも巡威島附近及び大東灣に於て十餘隻を發見し臨檢の上將來を誓ふて解放し尙鎭南浦よりは同稅關吏二名乘込み六日出帆蝶島、大和島、水運島、門白、龍岩浦に至り鰕子島を經て再び仁川に入港したるが門白附近にて淸國漁船三十隻の出漁を認めたるより訓戒の上追放したり

●中元前の煙草界

中元進物用として煙草等相當の賣行あるが金口にてはエム、シー、シー、インペリアル、サノム等最も賣行き目下京城全体一ヶ月の賣揚高は三千函三十万本位なるべく官烟のアルマも比較的安價なるを以て評判よく之等に對抗せん摸樣あり口付にては廣江商會の百本入八島、前園商會のパーク等も可成りに賣行き官煙の中元向としては富士、敷島の百本入体裁もよく金高五十錢、七十五錢なるを以て賣行よく本日迄に三千餘函出で行きたるが尙は來る二十一日より中元迄一圓以上の得意には景品券を呈する由にて九月一日商業會議所にて抽籤の筈なるが一等には百圓の勸業債券、二等大和四千本三等朝日二千本等の景品なりと

●東拓社員の減數

東洋拓殖會社員の數は最近の營業報告に因れば總裁以下其數七十九名なるが如何なる故か上級社員に對する割合には下級社員に對する同社の待遇殊に惡しきを以て先頃脚氣病に罹りたる二名の事務員は遂に死し尙營養不良其他にて健康を失せる者多く先頃中より是等の悲境に甘んじ得ざる數名の事務員は辭職の上內地へ歸還したりとの事也

●日韓瓦斯の總會

日韓瓦斯電氣會社總會は來る三十日開會の筈なるが同定時總會の目的事項は四十二年七月三十一日現在財產目錄、貸借對照表、本年上半期營業報告、損益計算書の承諾及利益金處分案、臨時總會の目的事項は遞澤監査役辭任に付補缺選擧の件、監査役任期滿了に付改選の件等なりと

●釜山鬱陵島間新航路

鬱陵島は釜山を距る百八十哩の海上にあり韓人七千人、日人六百七十人の住居せる一孤島なるが其の航通は極めて不便にして一ケ月僅かに一回の航通も困難なる土地柄なる上に其港灣は漁船を入るゝ場所無きを以て今般石油發動機船を艤裝し每月二回の航海を開かんと計畫したる者ありて農商工部へ補助金の請願を提出したりと云ふ

●韓海出漁船と三重縣

三重縣韓海漁業組合は本年三月の設立にして組合員三十三名從業者四百二十名なるが益增加の傾向ありて出漁者の根據地として突山本島、斗南平沙洞に於て未墾地五十八町餘の貸下出願を爲す等移住的經營の準備に盡しつゝあるを以て縣に於ても技術者を特派し諸般の事項を踏査し充分に保護指導を爲す筈なるが三重縣水產組合よりは本年度に於て二百圓を補助せりと云ふ

●拓殖金融部擴張計畫

東洋拓殖會社の金融部に於ては拂込金四分の一以上を使用すること能はず爲めに事業の振はざるは世間評判なるが同社重役會に於ては先般之れを擴張するの計畫を立て大株主に向つて內意を糺す所ありし由にて其の定款を改正するの運びを爲すに至るは蓋し遠きにあらざるべしと云ふ

●龍山の水道布設協議

既報龍山水道布設の件に就き會社側は本國に機械注文等の必要もあり本年內に竣工給水せんとするには非常に急速を要すればとの請求に依り民團にては協議會を開き瓦斯會社と同樣歡迎の意を以て之を議し二三日中に正式に回答する筈なりといふ

●龍山民團と瓦斯會社

點燈料割引、道路復舊仕樣變更其他一二ヶ條の會社側申出に就き民會にて再議し力めて會社の希望を容れ圓滿に解決すべく民會にて議決し其旨會社に回答したるが一兩日中更に會社の回答あり決定するに至る可しと

●新任憲兵隊長着任期

築城本部長より韓國駐劄憲兵隊長に任ぜられたる榊原少將は後任築城本部長村田中將へ事務引繼中なるが今明日頃終了し來る廿五六日頃までには着任の筈なりと

●平北地方浮塵子發生

平安北道の各郡にては稻田に浮塵子發生し農作物の被害甚しき旨一昨十九日付にて農商工部へ急電ありたりと

●●●●●日本基督の說敎

今二十一日午前九時より旭町四丁目京城日本基督敎會に於て婦人講演會あり尙午後八時より左の說敎あり

演題未定　日本基督敎 傳道局幹事　貴山幸次郎
衷心の要求　熊本敎會牧師　秋元茂雄

●●●●●佛敎靑年會說敎

南山本願寺の同會は今二十一日が定日なるを以て例の如く午後八時より左の通り講演あり

歡喜の生涯　龍山監督　森園明
靑年の信仰

●淺岡重喜氏入京 北韓新聞社長なる同氏は彼の三角航路問題の用務を帶び一昨十九日入京し目下浦尾旅館に滯在中なり

●上田飜譯官出張 江原道敎監會議に臨席の爲め上田飜譯官は二十三日當地を出發し途次沿道の各私立學校を視察する筈なり

●活民勞働會移轉 活民勞働會は本月十七日中部相思洞五統九戶に移轉したり

●淸國學生の出發 御成町京城旅館宿泊中の日本淸國留學生三名は十九日出發歸國

公人私人

▲坂東榮次郎(忠北警察部長) 十九日入京
▲村上義親(南洋丸船長) 同上
▲廣澤鎔政(瓦斯會社員) 同日龍山へ

近事片々

▲統監 曾禰子の言として御用紙傳て曰く今の學校出の者は理窟に耳走て實行が疎ひ
▲吾輩 は實行主義だ先年憲法第六十四條に就て伊東(巳代次)と議論をなしたる事有
▲伊東 は理窟の上より吾輩は實行の點より倂し終に吾輩の勝ちとなつた云々とある
▲此議 論に就ては片々も長亭子より聞た事がある強ち子爵の勝と云ふ譯ではない
▲無暗 に實行々々呼りも聊か片腹痛し從來何事か偉大なる實行ありしや些と承度し
▲大久 保甲東西鄕南州の如きは實際不言實行の人と云ふべきも碌々者何の實行か有
▲細事 を實行したると云ふ點より云へば公伊藤抔は大分實行せり桂侯は迚も及ばぬ
▲況や 子曾禰に於てをやと放言する者有庶幾くは實行の語より偉大なる實行を望む
▲宇佐 川東拓迄が何にカブれた今時のものは理窟のみにて實行力がないと放言す
▲軍人 にも似合はず重箱揚枝的の人の使ひ方では誰が敏捷に働くものか反省せよや
▲人生 意氣に感ず功名亦誰か論ぜむと云ふ迄にせざれば衷心より働くものにあらず
▲露都 に永らく漂浪せる李範晋の使李範某此頃京城に來りて亦東京方面に赴けりと
▲李範 晋は往年內部大臣として露國黨の隨一當時の外相李完用と共に威張りし一人
▲範晋 の使入城に就て彼是韓人側には取沙汰ありと聞くが敢て氣遣ふ程の事はなし
▲露國 が本年の上半期に歐露より極東方面へ送りたる移民は無慮五十余萬人なりと
▲其東 方經營に力を注ぐ事勁の如し隣邦の韓半島に於ける我移民の狀態は扨も如何
▲唯々 實行の語を繰り返すも何の効かあらむ移民增殖の實行は夫れ何の日にあるか
▲高平 小五郎の如き不具的外交家は米國の檜舞臺には置く可らずと每日電報は擔ぐ
▲片々 も曾て之を道破せり實際米國には最も有爲なる人物を派遣する必要催にあ
▲三州 矢矧に常陸と太刀の勝負中不意に震動起り双方共倒る勝は鯰公と見物人囃す

●紙幣其他の運[illegible] [illegible]篠永ひさは十八日午後七時頃南大門外[illegible]
明治町二丁目四番戸[illegible]
●政公は[illegible]
愛媛縣越智郡[illegible]水村 六番戸齋藤さくは赤痢病に罹る

●天氣豫報(自二十一日午後六時至廿二日午後六時)

●[illegible]出帆 午後七時

火藥庫爆發の後報及び安奉[illegible]

社告

出たり
十圓小切手一枚を遺失したる旨其筋へ届け

▲相談の相談▼

(何んでも御相談に應じ升)

◎問 私は昨年妻を娶りました者ですが妻は中々よく兩親に仕へてくれますので兩親も喜で居りますが私は未だ年が若いので時々妻に心配さす事があります。二三ヶ月程前から兎角不和であります、原因は私が兩親の命に背くからでありましようと思つて居ります、本日も妻と口論の上妻は私に斯う云ひました『私は貴方が歸すと申されたなら是非とも居るとは申しません』と、私は歸れとば申ませんのに此の樣な失敬な私をふみつけた言語をはきました殘念で堪りません、歸さうかとは思つて居りますが兩親に心配かけますのが氣の毒ですから辛棒して居りますが如何ものでしよう貴意を得たいです(御尋ね生)

◎答 御申越しに依ると妻君がチト言葉が過ぎた樣だが、既に自覺せられて居る如く貴君が兩親の命に背き且つ妻君に心配をかけられるのが原因なら先づ其の方を改めるが肝要です、妻君は叱度れ叱り置かれてよい、貴君へは僕が忠告する、兩親は當地に御同棲なのか國に居られるのか歸すとは離るとの事か御兩親の許へ歸すとの事か不明だが、結局妻は己れの保護下にあるものなのだから貴君が細君の安心出來る樣にして遣られれば決して左樣な失敬なことを仰云る氣遣ひなし、マア〳〵短氣を起すものでなし(係)

◎問 京城で夜學する所は何處々々ですか其内で一等善い所は何所ですか又科目は何々ですか御手數ながら記者さん知らせて下さい(近々入京生)

◎答 全体君は何にを希望するか如何なる智識を夜學に依りて得んと欲するのか兎に角是れを取り立てゝ御紹介申すべき學校を見當らぬが、兩三日中確たる所を御通告申すことにする、餘り永くなつたから一寸是れ丈け言つて置きます(係)

◎吉田君よ、君は其筋を問ふとあるが筋か手續か、何方なりや手數でもモ一度申入れられよ(係)

◎小學卒業生君よ、中學校第一學年に今年中に入學許可云々は缺員だにあらば何時にても入ることが出來ると思ふが念の爲め民團當局者に問合はせしも不在の爲め要領を得ざりしを以て更に問合はしたる上確答致しますから一兩日待ちなさい(係)

◎新町の角の樓の娼妓さんよモ少し委しく書いて欲しい。

●白晝二人の強盗

▲内一名は取押へらる

本月始め頃西部仁達坊居住鄭召史と云へる寡婦の家へ書を寄せて八月七日正午十二時迄に金二百圓を某坊瓶峴城皇堂迄持參すべし若し應ぜざれば住宅に放火すべし云々と之を手にせし鄭は大に驚き其旨西署へ訴へ出でしかば同署にては本服韓巡査を前記城皇堂附近に派し警戒せしめしが指定當日には遂に何等怪しむべき事なかりしが翌八日は鄭の親戚某の密偵某が同所に忍んで樣子を窺ひ居るも知らず同日正午とも覺しき頃二人の怪しき韓人來り堂の附近を往來して入るものゝ如く又物を搜すものゝ如く之ぞ正しく曲者ならんとは思へども彼等は二名自分は一名なれば如何せんと思ふ內彼等は目的を達せざるものゝ如く今や立ち去らんとするより某は最早猶豫すべからずとなし物蔭より飛び出し其一人を背後より捕へんとせしに彼等は地上の石を拾ひ某に向て亂打し隙を見て逃走せり爾來其筋にて嚴重搜索中去る十八日賊中の一名なる黃海道日川郡葛山李汝達(三十六)が西大門外京口橋李某方に潜伏中取押らる

●吃驚しての溺死

十九日午後一時龍山濱町日韓瓦斯會社工場前の漢江水流中に於て日本人一名溺死したる旨韓人巡査尹吉周より警察署へ急報し來りたるより詰合ひの竹村巡査は直に青木病院醫員と同行現場に出張して取調べたるが右溺死者は福岡縣遠賀郡黑崎町千八百七十二番戸平民當時龍山川端町下宿屋松風屋に止宿する大工職篠原善一(二)なるものにして數日前より前記瓦斯會社工場に通勤し居れる者なるが當日は晝食後の休憩時間中朋輩の某に向ひ遊泳に行つて來ると出で行きたる後約三十分間程經過せし頃漢邊に於て異樣なる人聲聞ゆるより其場に居合はしたる同人の實兄淺野宗一、日野某等數名は萬一と思ひて驅け付け居合はしたる日本人の小供に何事なるかと糺したる所今しも水中に沈みたるまゝ上り來らずとの事に其れと直ちに捜索引き上げたるに果してもしやと思ひし通り善一なりしにぞ種々手當したるも遂に蘇生するに至らざりしものと知れたるより一應檢案をして溺死と判定したるが全く不意に深所に陥りしより驚駭の餘り窒息溺死したるものに相違なきより死体は實兄宗一に引渡せる

●仲裁して喧嘩

一昨十九日午前六時半頃南大門通裏より日韓人の喧嘩ある由訴へ出でし者ありたるより警官出張取調べたるに當地若草町居住西山某に對し鐘路監獄三十七統金俊泰(二)より豫ねて十錢の取引あり前記南大門通りにて出會せるを幸ひ之が請求をなし西山は今持合せなければ後日來り呉れよと斷るも金は承知せざるのみならず頗る立腹し既に喧嘩に及ばんとする所を通り掛りし福岡縣人南大門裏通り三丁目三七番戸松原常吉(三)が仲裁せんとしたるに金は又同人に打て掛り茲に一場の喧嘩となりし事判明双方共僅の擦創を負へるのみなれば双方を說諭して去らしむ

南西風晴れ

十九日(華氏) 最高溫度 八六、五 最低溫度 七〇、三

謹告

一貴婦人の墮落 右は御用紙**京城日報**に對し特に**敬意**を表する爲**本日休揭**仕候

▲大岡君に申す 本紙連載の貴婦人墮落の記事が**急行**にて**太田邊**りを走り居るに對し、反駁の任にある君の竹棚閑話中の記事が**南大門驛**に**取殘**されたる旅客の恐海のソレの如くなるは甚はだ遺憾に被存候、記者は君に對し特に敬意を表し**大邱**にて**下車**し一日丈御待受致居れば必ず次の急行にて**追附**かるる樣願はしく候

▲元來霧には朝霧と晝霧と夕霧と有之候尤も洗濯屋の吹く霧には相違なきも前三者の中へは數へられぬを通例と致候君も此頃通人と被成候事に候へば此の位の事は御承知ならんと被存候尚夕霧に就ては先祖代々夕霧事業に關係ある御社の**原田主筆**御夫婦へ御下問相成るを以て捷徑かと被存候

▲夕霧問題位の爲めに畏くも**皇族**の御名を引合に出すは宜敷からず候況はんや君は伏見宮殿下より予は清元の夕霧を歡迎すとの御諚を承りたることなきに於てをや候

▲當地長唄會にては吉原雀を演じたる事決して無之候一度プログラムへ載せたるも後にて**省**きたるは君の知らざるところと相見え申候

▲總体**放屁**は或る場合衛生の爲必要有之候併し他人の前殊に貴婦人令孃の前には**禁物**と相成居候通人の大岡君首肯せらるゝや否

●命の代は金三圓

京城西部慶坊黃土峴金賢基(三七)方へ豫て知人なる慶畿道高陽郡李姓女(四二)は其の夫に死なれ頼る方なきまゝ同人を頼り來り似合はしき緣もあらば世話し呉れよとの事に金は良緣もがなと心當りを捜し居る內幸ひ京畿道建川北門外居住の某へ嫁し李姓女を金致明なる者の人力車にて建川へ送りたるに車賃三圓を先きにて請求せしも仕拂はず依て歸京後金賢基に之を迫りしも所持金なきに過日來大に煩悶し居りしが再昨日午後四時頃阿片を仰いで自殺を企てしを家人が見付け大に驚き此旨西部署に届出たれば直に出張夫れ〳〵手當を施せしかば幸にして蘇生したりと

●不粋なる遊客

仁川港に碇舶中の漁船乘組員熊本縣生れ尾形三之助と云ふは一昨日午後九時頃花町二丁目韓妓屋に入り込み平壤と云ふ韓妓を一時間三十錢の約束にて買ひ要領を得たる後一時間過ぎ二時間過ぎても歸る模樣なきより其の姉蘭香と云ふが見兼ねて早く歸る樣頼みたる處三之助は無法にも蘭香を毆り衣類二枚を引裂き狼藉をなしたるより警官の出張を乞ひたるが三之助より損料二圓を出すことにし事濟

●時ならぬ爆聲

十九日午後九時三十分頃本町二丁目邊に當り銃聲らしき音響のせるを巡回中の巡査が聞き附け同附近を取調べたるに本町二丁目百七十二番戸三越吳服店社宅內同店員東京生れ加藤和夫(二三)が同日支那人の店より買ひ求めたる爆竹を爆發せし事判明したれば一應南部署へ同行說諭せらる

●短刀を閃かす

仁川花町二丁目飲食店平田庄助方に一昨日午后十二時過ぎ年頃二十七八の男入り來り足を洗はせなどして六七寸位の短刀を閃めかし亂暴をなしたる上出で去りたるが其の跡に一圓餘入りの財布遺留しありたれば右の由警察に届け出づ

●寄附相撲興行

大木戸岩友等の大坂角力は愈々昨日午後五時仁川新埋立地に開場し大坂大火義捐の爲め慈善興行として晴天五日間興行する由

●不心得な局員

仁川花町二丁目郵便局事務員大平新知(二四)と云ふは一昨日正午頃裸体となり道路を徘徊し居たるが巡行中の警官に認められ昨日告發せられたり

●京城の大相撲

▲民團裏の空地の興行 大阪大相撲大木戸岩友兩大關一行は龍山打揚后仁川に乘込み其れより直ちに釜山に向ふ筈なりし處京城に於ても三日間丈け興行する交渉纏まり仁川打揚次第當地に乘込み民團役所裏の空地に於て毎日夕刻より開場する筈

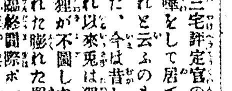
●賃銀を踏まんとす

仁川花町二丁目居住の土方早川清太郎と云ふは去月廿七日韓人夫三名を使役したるに今に於て賃金を仕拂はざるにぞ一昨日人夫三名は其の請求をなしたる處清太郎は暴言を吐き仕拂ふ樣樣なきより斯くと訴へ出でたれば警官出張即時に支拂はしめたりと

●阿片を仰いで死す

昨日午前五時頃皇華坊瀬ト洞金商鉉(五五)は其の居室にて全身紫色を呈して死し居るを家人が發見し最寄の警察へ訴へ出でしを以て警官出張取調べたるに阿片を飲んで自殺せしものにして原因は貧困を苦にして此の擧に出でしものならんと

線路問題の東電到着したるも既に印刷に着手中なりしを以て次號に掲載すべし



◀平民文庫▶

▲三宅評定官の宅で狸が兎と喧嘩をして居て捕まつた相だ此れと云ふのも元來狸が不心得だ、今は昔しかちかち山の夫れ以來兎は狸の敵藥だ位は親狸が不圖した猫癇が原因で膨れた膨れた睾玉をかゝへての臨終間際ポン〳〵と言ひ遺した戒に悖つた爲だ(舌切雀)

▲京城日報社のハガキ集にあつた寺巡りとかは至極だ大勢で行くと虚飾を張る奴も行かうし官職を鼻にかける奴も行かうし又幹事とか何んとかがこれに諛らひも爲ようから僕は廿二日昧爽より一人にて行く事に決した雨が降つても、但し槍が降つては中止すること無論(泡水)▲御遠慮に及ばず進止君の自由に委せる(小僧)▲蓮花の盛り期だけは景福宮の觀覽時刻を四時半位ゐから許すことに致て貰ひたいと思ひます(散步好)

▲京城の醫者中には夫れ程でもない病氣を大層に云ふ丈けでなく病氣とは沒交涉な藥を當がつて成る可く永延く樣にする人があると相だが事實なら大なる罪惡だ(又聞生)▲世の中に秘密の多い職業と云へばマア產婆と看護婦醫者等であらう内幕を探つて見玉ね隨分好い材料がありますよ(同上)▲會社銀行官廳等出勤時間の定めある所へ午前の五時六時から夫程でない用事の爲めに電話をかけることは愚だとは過日も本欄に見へたが實に愚だ今朝も五時廿分程過ぎた頃宿直部屋でヂリ〳〵鳴るから聞けば吉田さんは御出勤ですかと、他を馬鹿にするのも大抵にしろ午前五時出勤の所が何所にあると思ふ(立腹生)▲宛然私が叱られてる樣だ、が併し御立腹は御尤もだ、何あに京城新報の讀者には然う云ふ方はありませんよ(係)▲アレ對ふの家根で烏が笑つて居るのか泣いてるのか……アレ……アレが見へなくては困るなア(小僧)▲秋風ポプラに訪れて砧の音夜毎に繁くなりまさる「旅に臥て砧聞く夜や月くろし」(への字)▲龍山靑坡契の笑樂亭の女共は不都合な奴で男の急所を覗つて引つ掴みに來る危險千萬だ(被害者)

各種 **洗濯石鹸** 專門製造販賣

用途 陸軍、鐵道、船舶、鑛山、水道、湯屋、散髮、諸工業用

京城旭町二丁目（電話九七三番）

朝日石鹸製造所

▲**無料紹介欄**▼

人事部

●英文代書 通譯翻譯 本町一の七五 中村

●被雇度 年廿九市内に確實保證人有韓語に通ず不問職業被雇たし 氏名在社（四一三）

●韓語通譯 會社銀行又は商店を問はず韓語通譯に被雇たし 氏名在社（四一二）

●留家庭敎師 某美術學校卒業生廿三歲市内相當の家に被雇たし 氏名在社（四一四）

●下女入用 年齡三十歲より四十歲迄にして身体壯健なる者至急入用但し月給八圓 氏名在社（四一七）

●賣藥行商人數名募集 希望者は本人直接來談あれ 明治町三の一五七 水田藥房

●被雇たし 年十八身体强健高等小學校卒業新聞又は牛乳配達に雇はれたし 旭町一の二八二 中村

物件部

●賣地 南大門より停車場に至る右側表通六十坪の賣地あり 氏名在社（四二〇）

●貸家 若草町一にて温突二間續一間疊敷二間押込炊事場玄關付にて井戸の設置あり 家賃十二圓 若草町一の一二九矢島（四一九）

本町七丁目通にて飲食店造作付のまゝ至急格安に讓渡したし 姓名在社（四二三）

廣告

▲**清潔の下宿**▼

客室の清潔ご調理の美味ご御扱の懇切ごを特色こして下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候

壽町二丁目十番戸橫小路（元花屋跡）

▲**懇切の下宿**▼ **かめ屋**

東京産婆學校卒業

産婆 莊野キヌ

龍山十五間道路 鐵道官舍十六號一

大卷 特製 **土耳古金口莨 品景品附大賣出**



●賣出期間 明治四十二年七月十五日より同年九月十五日まで

●抽籤日 同年九月二十日

●景品引替期間 九月廿一日より十月卅日まで

●本景品券は百本入壹個に付一葉を呈す

一號太卷インペリヤアル 一圓四十錢

インペリヤアル 一圓

黑卷スポート 一圓十錢

景品目錄

一等 額面金貳百圓勸業債券

二等 金側時計 一個

三等 二枚續白毛布 一個

四等 ブドウ酒（一打入） 一箱　五等 金口莨（百本入） 十箱

六等 コーヒー道具 一組　七等 信玄袋 壹個

八等 バスケット 一個　九等 手提文庫 一個

十等 婦人レース 一枚（以下空籤なし）

トルキー、サモス、ヂー、ジエナシ會社

トルコ煙草商會

特約店

本町六丁目（電話五七一番）**岡野洋物店**

本町二丁目（電話二四八番）**辻屋本店**

本町三丁目（電話三六六番）**辻屋支店**

一鴨緑江製材 一北海道松材

各種板類一切 及小割類種々

右今回弊店に於て販賣開始仕候間續々御用命被仰付度充分大勉强御高需に可應候

京城本町五丁目 **煙上支店 山本村太郎** 電話三七〇番

新荷着中元賣出し 東京



來る三十一日まで

五百足限 一圓均一 一圓十五錢

利益なし元價の 一張 二十五錢

本店東京 京城大和町一丁目日の出橋際 **藤井出張店** 電話二〇五番

熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ（紹介ヲ要セズ）

京城旭町一丁目六十七番戸

辯護士 岡田榮（電話三九八番）

東京 生そば

移轉御披露

京城旭町三丁目十六番戸（三日月湯下隣）

東京庵 電話九五五番



胃腸消化新劑

澱粉消化 **ヂヤスタリン** 錠劑十日分（三十粒入一瓶）二十錢 散劑一オンス入（一瓶）一圓二十錢

蛋白脂肪消化 **ヂゲスチン** 錠劑十日分（三十瓶入一瓶）三十錢 散錠一オンス入（一瓶）二圓四十錢

右は最近內地に於て急激の需用を來たしたる名聲嘖々たる世界無比の理想的絶品にして所謂賣藥には無之候 各地有名なる藥店に於て販賣す

●**大韓醫院御用藥**

韓國一手賣捌元 京城光化門通 **大島專藏**



京城光化門通 **淺田洋服店** 店主 大島壽藏（電話四百十三番）

營業科目

活版活字鑄造　石版銅版　木版彫刻　コロタイプ版　寫眞版　罫線罫　製本裝釘

今般日韓圖書印刷株式會社ヲ日韓印刷株式會社ト改稱致シ在來ノ營業ニ加ヘ新ニ製紙業ヲ兼營致候間倍舊ノ御愛顧ヲ願上候也

日韓印刷株式會社

本社 京城明治町三丁目（電話三二三番）

東京出張所 東京京橋區南鍋町一ノ十（電話新橋三九六二番）

中元大賣出し

漬物味噌醬油製造元 京城本町五丁目

大上商店（電話二五一番）

和洋酒、㋨精酎、穀物麵類銘茶、鑵詰、乾物荒物食料雑貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽各種特約販賣尙御望に依り商品切手調進仕候

★株式會社 **百三十銀行** 韓國總支店

京城本町二丁目十五番戸 電話五十八番

資本金五百萬圓 頭取 安田善三郎

爲替取組先

畿內 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野、住吉、茨木、下市

東海道 東京、横濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名

東山道 松阪、彥根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、七崎、高崎

北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、富山、伏木、新潟

山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田

山陽道 龍野、姬路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、鞆、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、德山、小郡、長府、網干、牛窓、味野、岩見、岡山

南海道 串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、州本、撫養、德島、善通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱

西海道 直方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲

北海道 函館、小樽、札幌

台灣 臺北、臺南

淸韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晉州、尙州、馬山

銀行一般の業務精々便利取扱可申候

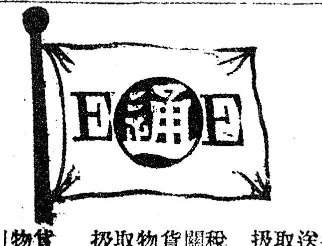
元祖 消毒 殺菌 **牛乳 千山牧場**

京城大和町壹丁目 電話一二三

代書 ゴム印彫刻

京城本町二丁目 南部警察署前

成巧館代書部 成巧館彫刻部



貨物運送取扱 危險擔保附運送 稅關貨物取扱 品代金付貨物運送 貨物引換證發行

內國通運株式會社

京城南大門驛前 **京城支店** 電話七〇八番

仁川驛前 **仁川出張所** 電話五一二番

草梁驛前 **釜山出張所** 釜山驛前 草梁驛前 電話六一六番 電話三三七番

龍山驛構內 **龍山派出所** 電話二〇六番

●滋養と牛乳● 純良 **牛乳**

●衛生と消毒●

京城東四軒町 **岡野牧場** 電話壹〇六九番

馬車配達

日本郵船株式會社 仁川出帆廣告

貨物及船客取扱店

仁川海岸通 電話三九番 **郡回漕店**

●釜山長崎門司神戸行 山東丸 八月二十九日午後三時出

●大連、太沽、牛莊行 高砂丸 九月九日正午時出

●大連、太沽、牛莊行 山東丸 月日午前四時出

●大連、大沽、牛莊行 酒田丸 八月廿六日正午

●釜山出帆、元山、淸津、浦鹽行 立神丸 月日午後出

御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料 ▲一枚金二錢▲一ケ月前金四十錢▲三ケ月金壹圓拾錢▲六ケ月前金貳圓▲郵稅一ケ月

●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回五十錢 廣告五號活字十九字詰一行金六十錢

發行兼編輯人 高木久太郎

印刷人 松久朝一郎

發行所 京城西小門通 京城新報社 電話六六三番